

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

住みやすい家「いえやす」

グループの名称

静岡 家づくり強靱化を考える会

直近採択グループ番号

06-0611-0445

(グループ代表者)

代表者名

江間 康雄

代表者印

代表者所属先

株式会社江間建設

代表者所在地

静岡県浜松市中区上島5-4-10

代表者電話番号

05-3471-1993

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社原川

事務局担当者名

原川 哲

印

事務局郵便番号

430-0802

事務局所在地

静岡県浜松市東区将監町30-12

事務局電話番号

05-3464-3100

事務局FAX

05-3465-5382

事務局担当者E-mail

green@harakawa.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	住みやすい家「いえやす」
2. グループの名称(必須)	静岡 家づくり強靱化を考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0611-0445
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県・愛知県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	江間 康雄
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社江間建設
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県浜松市中区上島5-4-10
9. グループ代表者電話番号(必須)	05-3471-1993
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社原川
11. グループ事務局担当者名(必須)	原川 哲
12. グループ事務局郵便番号(必須)	430-0802
13. グループ事務局所在地(必須)	静岡県浜松市東区将監町30-12
14. グループ事務局電話番号(必須)	05-3464-3100
15. グループ事務局FAX番号(必須)	05-3465-5382
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	green@harakawa.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	14	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	12	事業者が海外のため必要とされる念書入手が不可能であり、一部事業者の登録を行っていない。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	3	
V. 設計	6	
VI. 施工	8	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外		
		番号記入欄				
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	
	しずおか優良木材	静岡県		しずおか優良木材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	優先順位		1.申請時に確定住宅の報告を受けている事業者						
			2.物件の確定した時期の早い事業者(但し、同じ事業者が2棟目の申請を行う際は、事務局が他の施工事業者に了承を得る。)						
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>住みやすい家「いえやす」</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>静岡県・愛知県</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>静岡 家づくり強靱化を考える会</b>	(結成年) <b>2015 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0611-0445</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	発生が予想される、東海・東南海地震に備え、耐震性能を重視し、建物自体を凹凸の少ない形にする。 温暖な気候に恵まれているが、冬季の季節風は強く体感温度は低く感じるため、断熱性能を重視し、その地区に対応した省エネ基準の断熱性能とする。(非住宅を除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	長期間丈夫で安心な家に住み続けるために、主要構造部にD1特定樹種を使用して蟻害を防ぎ、住宅の耐久性を高くする。 自然風を利用しやすい開口の設計を提案する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地震などの災害に備え、避難経路などの動線を考慮して居室を配置する。	○
④①～③の背景	・静岡県は、日照時間が長く温暖な気候に恵まれている。しかし、冬季の季節風は強く、体感する温度は低く感じる。 ・東海・東南海地震の発生が高い確率で予測されているため、地震に対する備えが必要な地域である。 ・静岡県は、平成27年の健康寿命が女性においては全国二位、男性についても全国三位という健康寿命が高い県である。 ・温暖地であるため白蟻の被害が多くみられる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	長期優良住宅や認定低炭素住宅の未経験施工業者が多いので、団体が協力して、性能が高く、地震などの災害に強い住宅の供給と構成員一人一人のレベルアップを目指す。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: しずおか優良木材・合法木材など、定められた品質・規格の用材を使用することにより寸法規格化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: メーカーを限定し、その商品のなかから選定を行うようにする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 特定の商品を推奨することによって、効率良く受発注ができるようにする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 木材・建材・住宅設備機器のメーカーを限定することにより、コストを抑える。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: メーカーを限定し受発注の流れを決めることにより、事務の無駄を無くし、効率的に資材調達・現場配送を行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工構成員の施工中の現場にて、構成員向けの現場見学会を行い、より良い家づくりになるよう、生産・施工体制等について意見を出し合う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 国や地方自治体の施策制度情報の収集と周知を行う。 着工前に施工店・流通業者と各資材の現場納品日等を打合せし、効率の良い資材調達・現場配送ができるようにする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工店が中心となりグループ内で施工基準を決め、グループ内で共有する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 上記(b-①)の基準に従い、施工ができているのかをグループ内の構成員がチェックする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 使用する商品の品番・規格・定価・使用場所等を明確に表示し、お施主様に理解しやすい見積り書の作成に努める。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ統一のパンフレットを用いて、お客様や地域住民の方々にグループの家づくりについて提案、説明をする。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: しっかりとした工程表を作成し、工程表通りの納材・施工を行うことにより、週休2日を確保できるようにする。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 人材に対する投資促進を推奨していく。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社会保険未加入の構成員については、社会保険への加入を促す	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全講習会を開催し、建設工事関わる業者の安全意識・健康意識の向上を図ります。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	勉強会・外部の講習会に参加し、構成員の技術力の向上を図り、生産体制を強化する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住みやすい家「いえやす」	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡 家づくり強靱化を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0611-0445	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型は、住宅履歴・顧客管理システムを活用し、新築時の設計図書や、訪問履歴やメンテナンス履歴を管理・共有する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同システムを利用して点検やメンテナンスの時期を、お施主様・施工業者・事務局に通知する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の共通ルールをもとに事務局が、施工業者に確認をする。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で住まいのメンテナンス時期をわかりやすく表にし、引渡し時にお施主様お渡しする。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記、点検結果に基づいて、適切な補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通ルールをもとに事務局が、適時確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1回以上、家づくりや地域産業と連携したイベントを開催し、OB施主様や見込顧客様に対して、住まい管理についての勉強会を実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1回以上、家づくりや地域産業と連携したイベントを開催し、OB施主様や見込顧客様に対して、DIYの体験コーナーを設ける。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会などを通じてグループの家造りを普及していく。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 家づくり向上委員会が中心となり、上記の内容を企画・運営する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し時に、お施主様にグループ共通の「家の維持管理手引き」をお渡しする。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工業者が廃業等の場合は、グループ内で管理を引き継ぎ、点検やメンテナンスを実施する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、勉強会開催や情報の発信をする。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		お施主様に対して、定期的なリフォームに関する情報やイベントの案内を行う。	○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 認定低炭素住宅や長期優良住宅の研修会をグループ内で企画し、実施する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工研修を行い、供給する住宅の品質の安定と向上を図る。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ルールに従い、施工ができているかグループ内の構成員がチェックをする。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国のロードマップを参考に、将来予想される需要に対して、当グループに必要とされる技術や管理体制などの計画をする。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 東海・東南海地震に備えた住宅の供給や、住宅の強靱化を普及させるイベントを開催し、当グループのブランド価値を高め、より多くの地震に備えた住宅を供給し、静岡県民の安心と安全な生活に貢献していく。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、グループ構成員が地震に対して認識を深め、それぞれの業種で、より良い家造りを考え・実行する。各業種の情報共有を常時行い、効率的な供給体制を整えておく。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 7	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 7	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講者へ、講習会開催日や場所を案内し、参加を促します。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者に対して、BELSの取得を促します。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		長期的に効果が持続し、自然素材でもある防蟻・防腐処理として活用できる「ホウ酸」を木部に施すことによって、再処理ができない壁の内側を維持し、健康に配慮した住宅の供給を目指します。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住みやすい家「いえやす」	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡 家づくり強靱化を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0611-0445	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	
①	共通 ルール(必須) 主要構造材は「合法木材証明制度(国内・国外)」,または「しずおか優良木材認証制度」を使用する。 主要構造材の使用比率は50%以上とするが、部位ごとの使用割合は問わない。	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使 用部位(必須) 主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に関 する補足説明  しずおか優良木材認証制度	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で、現場棟数を把握し、適正な在庫を行ない、安定供給を図る。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通と協力して地域材の価格の情報をグループ内で共有する。	○
	② グループ全体における地 域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で、情報を共有し、使用量を把握する。	○
c	①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室・畳コーナーを推奨し、日本の和文化を継承していく。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ自 身のルール・目標があれば記入 してください。	

カ. その他

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域の合板等の資材を積極的に使用する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	地震・耐震をテーマにしたイベントを開催し、地震に対しての考えを深め、熊本地震の記憶を風化させないように努める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



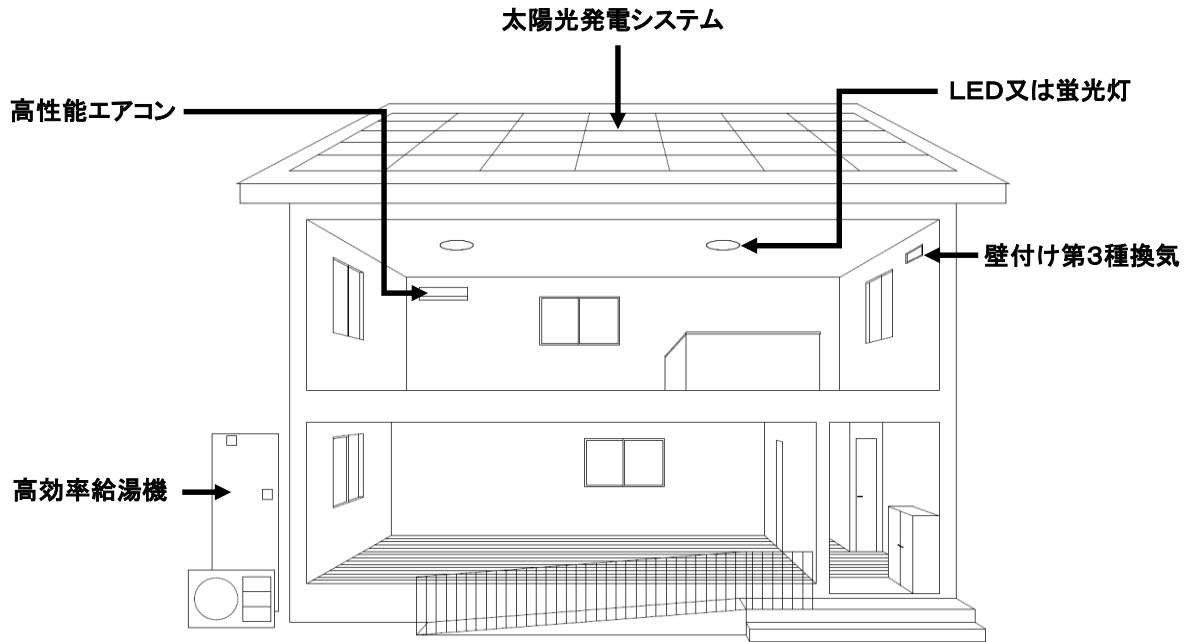
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 住みやすい家「いえやす」	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 静岡 家づくり強靱化を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0611-0445	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



認定低炭素・性能向上計画認定住宅

- ①木造住宅
- ②設置台数の半数以上を節水トイレ
- ③高性能ガラスウール又は、吹付断熱材を推奨

ゼロ・エネルギー住宅

- ①断熱強化  
基準を満たすことのできる断熱材を使用。  
高性能ガラスウール又は、吹付断熱材を推奨
- ②高効率給湯機  
ヒートポンプ式の場合：年間給湯保温効率(JIS)3.3以上  
潜熱回収型の場合：エネルギー消費効率94%以上(暖房給湯兼用機は93%以上)

エネルギー削減率 :  $R_o = 20.0\%$ 以上(6地域)

優良建築物

- ①地域材を使用する
- ②太陽光等の創エネ設備の設置を推奨する
- ③内外装の木質化を図る